

産地パワーアップ事業の取組事例

(滋賀県)

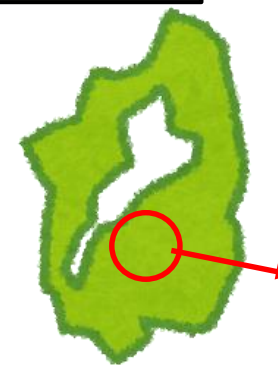
取組の概要

取組の概要 : 集出荷貯蔵施設の整備
計画作成主体 : 栗東市農業再生協議会
対象品目 : 小松菜、ほうれん草、水菜、ねぎ等
(産地面積: 24ha)
主な取組主体 : (株) リッチグリーン他
成果目標 : 10a当たり販売額の10%以上の増加
助成金の活用 : 整備事業(集出荷施設)
生産支援事業(プレハブ冷蔵庫、
栽培管理用機械)

ポイント

今まで十分な保冷スペースがないため、適期収穫や低温管理ができず劣化し廃棄していた生産物を、保冷施設を整備することで生産物の適期収穫、適切な温度管理をすることにより、10a当たり10%以上の販売額の増加を実現。

地区の概要



滋賀県
栗東市、草津市、野洲市、守山市

産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 24 ha
構成員の販売売り上げ金額 :
439千円/10a/年

〈目標:H30年度〉

作付面積 : 24 ha
構成員の販売売り上げ金額 :
484千円/10a/年



推進体制

地域の関係者(栗東市、JA栗東市、滋賀県大津・南部農業農村振興事務所等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○ 低温保管倉庫の確保により、保冷能力が向上し、鮮度維持と品質向上により販売額アップにつなげる。

事業効果

- 保冷施設の整備と保管容量確保により、軟弱野菜等に適した温度管理が可能となり品質劣化を防ぎ廃棄量の減少と出荷量の増大がみこまれる。
- このことにより取引先からの発注量に対応できるとともに、新規契約先の開拓につなげる。

～小松菜、ほうれん草、
水菜、ねぎ等の販売額～

